



今 愛沙隊員



中村 琳音隊員

り立つものだと学びました。
ただ、少子高齢化による働き手不足など、地域が抱える課題にまでは3年間で取り組むことができませんでした。
今 では、最後にこれからの挑戦について聞かせてください。
琳音 大学時代に海外で写真を撮りたいという思いがありましたが、叶えられませんでした。今回の退任後が最後のチャンスだと思い、1年間海外に行くことを決めました。帰国後は、南浜館で写真展を開催したいと思っていますので、ぜひ足を運んでください！
今 それめっちゃいいな！琳音隊員の海外で撮影した写真を楽しみに私も頑張ります！野球と移住先の写真、たくさん送ります。
琳音 最後に、お互いに枕崎の皆さんへメッセージを贈りましょう。
今 『枕崎から全国に、女子野球の発展を』という最初の目標を3



地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊 が行く！

琳音 すごいですね！私は、枕崎の風景を撮影する日々がとても印象的でした。撮りためた写真を南浜館に展示できたときは、大きなやりがいを感じましたね。特に、協力隊の集大成として開催したフォトコンテストと写真展は、一番力を注ぎました。次の質問です！

今月は、中村琳音隊員と今愛沙隊員の卒業レポートです。
この3年間の活動や今後の予定について、語っていただきました。



琳音 今回は、2人でお互いにインタビューし合っているように思います。まずは、濃い3年間でしたね。
今 そうですね。振り返ると、本当に充実していました。

琳音 3年間活動してきた中で特に印象的だったことは何ですか？
今 やっぱり女子硬式野球クラブチームの創設ですね。赤池隊員と一緒に、チームとして活動できる環境を整えるには何が必要か、どの大会に出場できるかなどを試行錯誤しながら進めていきました。そして、実際に大会に出場できたときは、大きな達成感がありました。

琳音 すごいですね！私は、枕崎の風景を撮影する日々がとても印象的でした。撮りためた写真を南浜館に展示できたときは、大きなやりがいを感じましたね。特に、協力隊の集大成として開催したフォトコンテストと写真展は、一番力を注ぎました。次の質問です！

プライベートはどうでしたか？
今 移住してきてから出会った友達との集まりが楽しくて、いつも元気をもらっていました。琳音隊員は？
琳音 私と同じで、枕崎で出会った友人たちとの時間が大切でした。では、今さんが女子野球に取り組む中での課題はありましたか？
今 高校時代に鹿児島で女子野球をしていたとき、女子チームの少なさを実感しました。でも、大学で関東へ行ったら、女子野球の環境が全く違ったんです。練習試合がすぐに組める環境が整っている、それが当たり前のように機能していることに驚きました。そのとき、「九州・鹿児島島の女子野球をもっと発展させたい」と強く思いました。そして、枕崎でそのチャンスがあると聞いて、今しかない！と思い飛び込みました。
琳音 すごい。いろんな思いが詰まっていますね。
今 ありがとうございます。琳音隊員の活動中1番頑張ったこと、課題だったことは何ですか？
琳音 私は、フォトコンテストを企画する中で、最初はすべて1人でやろうとしていたんですが、限界があることに気づきました。もっと周りに頼ることが大事なんだと実感しましたね。協賛のお願いに行ったり、問い合わせ対応をしたりする中で、多くの方の支えがあったからこそ成

しゃらく立神写真展

枕崎市文化協会に所属する写真グループ「しゃらく立神」による写真展を開催します。

●会期 3月11日(火)～30日(日)まで ※月曜日休館

●観覧料 無料

第4回枕崎国際芸術賞展 今夏開催！

枕崎国際芸術賞展ホームページにて3月25日まで作品応募受付中！
詳しくはこちら▶

＜審査員＞(敬称略)

- ・保科豊巳 (画家・東京藝術大学名誉教授)
- ・河口洋一郎 (アーティスト・東京大学名誉教授)
- ・上原利丸 (染色アーティスト・東京藝術大学名誉教授)
- ・高島依子 (画家・東京藝術大学准教授)

The 4th International Art Exhibition in MAKURAZAKI

スポーツ・文化イベント情報

南浜館

開 9:00～17:00
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

市長

コラム

vol.71

十五歳から、数えて。

十五歳から数えて四十五年目の昨年、私は六十歳の還暦同窓会に出席しました。集まったのは、同じ中学を卒業した同級生途中で転校した同級生も同じ学校で学んだ仲間として、数人が参加してくれました。数えれば、五度目の節目の同窓会でした。まず、中学を卒業して五年目。二十歳の成人式の時、初めての同窓会をしました。また、中学の時の「そのまま」という感じで、五年ぶりの再会を楽しんだことを覚えています。とはいえ、中学を卒業すると、進路がそれぞれ違ってきます。別々の学校へ進み、高校を卒業して大学や専門学校に進学して学生を続けている人、高校を卒業して就職し、社会人として自立した生活を送っている人、別々の道を歩きはじめた友人同士が再会する、なんともいえない感じが同窓会独特のものだったことも記憶しています。

そしてそのあとは、中学を卒業して二十年の節目に三十五歳で二度目の同窓会をしました。この時はいろんな変化があります。結婚して子どもを持ち、子育て真っ最中の人もいて、話す内容も中学の時とはまったく違った子育ての話や、親もそれなりに高齢になって、暮らしのいろいろな話に花が咲きます。

そして卒業二十五年で四十歳会、三十五年で五十歳会、そして四十五年で還暦同窓会と中学校卒業から節目、節目で懐かしい会が続いていきます。同じ故郷で、同じ学校で、いっしょに学んだ友人といくつになっても懐かしく語れることが、また明日からのチカラになってくれるのが同窓会です。

この3月に市内の4中学校を卒業する十五歳の皆さんも、ぜひ友だちとの再会の日を楽しみに新しい道へ歩き出してほしいと思います。卒業、おめでとうございます。